

令和2年度福岡歯科大学
福岡県南同窓会総会及び
時局講演会・学術講演会

中村 清人(7期生)



令和2年7月4日、久留米歯科医師会大ホールにて、令和2年度福岡歯科大学福岡県南同窓会総会及び時局講演会・学術講演会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が懸念される中での開催に、当日の感染対策には十分配慮し、学術講演会講師も大村先生(7期)にお願いしておりましたが、新型コロナウイルス感染リスクを配慮し、急遽南地区の先生にお願いすることになりました。各議題ではできるだけ資料は読まず、必要最小限のポイント説明とし、時間を短縮して無事総会は閉会を迎えました。引き続き、本部同窓会吉永会長(4期)からご挨拶をいただき、神田日本歯科医師会常務理事(4期)から、時局講演会をしていただきました。学術講演では私が、「漢方薬について」今なぜ漢方薬なのか? 総論的なお話をさせていただきます。各論につきましては、資料をお渡しし、ポイントの説明をさせていただきます。最後に、歯科保険改正に関するミーティングが行われ、会員相互で活発な意見交換がなされました。末筆になりましたが、本年度豪雨災害におきまして、県南同窓会被災会員に對しまして、同窓会並びに会員の各位より、ご厚情・ご支援賜り誠にありがとうございました。

同窓生からの手紙

唇歯輔車の精神で

福岡歯科大学同窓会 常務理事(福祉厚生担当) 俣野 正仁(5期生)

2020年は新型コロナウイルス感染症に始まり令和2年7月豪雨と災いの多い年となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。豪雨災害見舞支援金を各県や会員の皆様をお願いいたしましたところ、約200万円という温かいお気持ちがたくさん頂戴し感謝申し上げます。法人制度の改革に伴い多くの歯科医師会の福祉共済制度が除外されていると思えます。個人対応となったわけですが大学同窓会は同窓生相互の助け合い、そして励まし合い高め合う精神と歯科医師の基礎を築いていただいた母校への感謝さらには歯科界への貢献が大きな柱だと思っております。福祉厚生委員会はまず災害時に各支部同窓会による会員の安否、被災状況の確認報告を受け迅速に支援できる体制を早急に確立できるように努めます。「唇歯輔車」とは切っても切れない密接な関係を意味していますが、お互いの立場を理解し自らの責任を全うすることが大切です。同窓会ならではの活動を目指して頑張りたいと思いますのでご協力の程よろしくお願いいたします。



全ての人に感謝

江藤 ゆかり(12期生)

こんにちは。中学校の体育教員になりたかった私が平成2年に卒業し、歯科医師人生30年が過ぎました。学生時代は卓球部に所属し、充実した楽しい学生生活を送りました。開業前には6年間県立宮崎病院歯科口腔外科 林升先生(本学1期卒業)のもと御指導いただきました。振り返ってみると宮崎県福岡歯科大学同窓会の先生方に支えていただいたお陰で今があると思います。その中には、学生の頃から可愛がつくくださった林昇文先生(5期生)、相澤隆先生(10期生)との悲しいお別れもありました。現在は宮崎中心部から15キロ程北の宮崎市佐土原町という所で開業し、今年で20年になります。母が導いてくれた歯科医師への道、今

クリニックからこんにちは!

では天職となりスタッフ共々、日々楽しく頑張っています。今の充実した日々が過ぎせすも、周りで支えてくださる地域住民の皆様方のお陰です。今は亡き母、私に関わってくださっている全体的に感謝しつつ、少しでも人の役に立てる人生でありたいと思います。



スタッフと一緒に

卒業生 NOW

『罪滅ぼし』と『ご恩返し』の人生を… 岡部 知剛(10期生)

浪人後に入学させていただきながら、武道に専念致すため山籠もり下山後は海外武者修行と歯科大生らしからぬ所業に勘当され、暫くは歯科とは無縁の仕事(廃品回収業やトラック運転手)をしておりましたが、当時薬理学の成瀬教授に出頭を命じられ、両親との仲を取り持っていただき、また兄廣直(現 廣徳会岡部病院理事長/当時は九大麻酔科)の諫言により復学させていただきました。今にして思えば当時はあまりに身勝手な振る舞い、多くの方々を傷付けて参りましたが、成瀬教授をはじめ諸先生方・事務職の皆様・同級生に支えていただき私のような者を何とか卒業させていただきました。この場をお借りして改めて衷心より感謝御礼申し上げます。

卒業後は再び武道に専念致す所存でおりましたが、放射線科の森教授にお声をかけて戴き初めて歯科医師としてのお仕事に就き、両親存命中に最高の親孝行をさせていただきました。現在、夢みることも基金のお手伝いをさせていただいておりますが、『夢みることも基金を支える会』の顧問に昭和51年入学からの同窓で総合武道場知剛塾の名付け親でもある北九州八幡の安倍敬治先生、会長に熊本の嶋田英敏先生にご就任いただき、チャリティーコンサート準備を進めております。せめて残り少ない余生は『罪滅ぼし』と『ご恩返し』に捧げて参りたいと思います。

